

令和3年度公益財団法人新潟市海洋河川文化財団 事業報告

事業概要

【期 間】

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

【概 要】

当財団は公益法人として、公益法人制度の趣旨に鑑み、教育文化の普及啓発事業の一層の充実を図っていくとともに、当財団の主事業である新潟市水族館の指定管理業務について5年間の指定管理期間のうち3年目の管理運営を行った。

水族館業務は、令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大により管理運営に大きく影響を受けた。感染拡大に伴い、令和2年度のゴールデンウィークに続き、9月に臨時休館を行った。また、1月には新潟県がまん延防止等重点措置区域に指定されたことにより、市内の公共施設が臨時休館となる中、当館は休館することはなかったが、入館者数に大きな影響を受けた。来館者やスタッフへの感染症対策を十分に実施しながら開館を続け、入館者数は前年度比114.9%と増加した。

また、生物の飼育状況としては、令和1年、令和2年と、2年連続でカマイルカが誕生したが、令和3年度においても7月にカマイルカが誕生し、3年連続となった。その他、令和2年に死亡したラッコ水槽への次期展示生物として、東京都葛西臨海水族園よりウミガラス5羽を搬入し、4月から一般公開した。

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、新潟市水族館の指定管理者として来館者の安心・安全を第一に考え、新潟市水族館の設置目的と「新潟で一番愛される施設」という私たちのビジョンを達成するため一層の来館者の満足度向上に努めるとともに、法人としても健全な運営を行っていききたい。

なお、事業報告の詳細については、次のとおりである。

【事業名】

公益目的事業

- 1 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業
- 2 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業

収益事業

- 1 施設管理に付帯する事業

公益目的事業

1 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業

【事業目的】

新潟における海洋・河川文化の現状や変遷を調査研究及び情報発信することにより、海洋・河川文化及び海洋・河川等、人との関わりの大切さを後世に継承し、併せて地域社会の持続的発展の担い手を育む。

【主な事業内容】

(1) 海洋・河川文化の普及啓発

※中止・・・新型コロナウイルス感染防止のため

区分	名称	プログラム等	実施（予定）日等	参加人数
体験学習	田んぼ体験	田植え	6月6日	26人
		稲刈り	10月3日	21人
		脱穀	10月17日	荒天により中止
		わら細工	11月7日	20人
	野外体験教室	渦のいきもの観察会	9月26日	16人
		スナガニ野外観察会	7月17日	18人
講演会	マリンピアカレッジ	むし博士入門～にいがたフィールド版～	6月12日	35人
		私たちのすぐそばにいるよ！新潟で暮らしている野生動物の世界	7月3日	34人
		生きた化石「クロヌタウナギ」	10月23日	※中止
		鳥から見た海の世界	11月27日	28人
		ハス博士になろう！	12月4日	21人
		クラゲの不思議を覗いてみよう	3月5日	※中止
各種施設との連携	出展展示(各種)	にいがた環境フェスティバル	10月31日	約400人
		第4回ちょ～生きもの発表会	12月18日	約80人
		新潟大学医歯学総合病院 小児病棟 ライブ配信	6月3日	約5人
		県立がんセンター新潟病院 小児病棟 ライブ配信	6月23日 3月24日	約20人
	社会教育施設関連	舟にのって水草刈りと泥上げ体験	10月10日	20人
	学校教育連携	総合学習の受け入れ	小学校9校、中学校5校、高等学校6校、その他3校計23校	867人

		実習生の受け入れ	新型コロナウイルス感染防止のため受け入れ中止	0人
		教育現場への講師派遣	小学校8校、中学校1校、高校1校、専門学校2校計12校	約720人
	講師派遣	福島潟いきものしらべ水生動物観察会(ねっとわーく福島潟)	4月4日	36人
		夏休み親子魚探検隊(生物多様性保全ネットワーク新潟)	7月26日 8月1日	38人
		川の生き物観察会(タランベクラブ:関川村)	8月8日	43人
		水族館から見た新潟の魅力(にいがた市民大学 新潟学コース)	8月18日	85人
		潟のいきもの観察会(上堰潟公園を育てる会)	9月26日	16人

(2) 海洋・河川文化の調査研究

図・・・新規事業

区分	名称	内容
研究発表	JAZA(日本動物園水族館協会)関連	海獣技術者研究会 ・Web発表「生後6日目から開始したカマイルカ親子の移動トレーニング」
	その他研究会・学会等	日本水族館協会第2回水族館研究会 ・Web発表「飼育下におけるスズメダイの繁殖」 日本野生動物医学会 ・ポスター発表「黄体の自発退縮と子宮蓄膿症を合併したカマイルカ」
各種会議	JAZA関連	<Web会議> 通常総会、生物多様性委員会三部合同会議、ブロック園館長会議、教育普及委員会、設備会議、イルカ会議、海獣技術者研究会など
	その他会議	・水産庁委託「さけます等栽培対象資源対策委託事業 新規栽培対象種技術開発(魚類)グループ」調査計画会議、生物多様性シンポジウム <Web会議> 水産庁委託「さけます等栽培対象資源対策委託事業 新規栽培対象種技術開発(魚類)グループ」研究設計会議、日本水族館協会通常総会・トレーニングセミナー・第1回水族館研究会、日本野生動物医学会臨床委員会、葛西臨海水族園主催「ペンギン類の飼育及び個体管理勉強会」など
研究	水産庁委託	アカムツの種苗生産技術の開発研究及び親魚養成技術の開発
	環境省委託	新潟県産コシノハゼ生息域外保全事業
共同研究	JAZA	ユーラシアカワウソの泌尿器疾患にかかる研究・栄養評価
	岐阜大学	カマイルカの繁殖生理の季節性や生殖腺活動の状況などの調査
	東京海洋大学・常磐大学	カマイルカの出産に伴う鳴音の変化及び仔の音声発達に関する研究
	新潟大学脳研究所	イルカから水中で無侵襲的に脳波を記録する方法を確立するための研究
	日本獣医生命科学大学	ハンドウイルカとカマイルカの代謝モニタリング調査
	日本大学	ペンギン類の鳥マラリア感染に関する研究
	上智大学	タツノオトシゴの育児嚢の形成過程や育児嚢の機能に関する研究

	長岡市立科学博物館	大河津分水路河口域周辺におけるスナガニの生息状況調査
	東京農工大学	カマイルカとハンドウイルカの腸内細菌叢と代謝産物に関する研究
	新潟水産資源研	データロガー装着がズワイガニ雌に与える影響の検証
	新潟藤田医科大学	シンバイオティクスを用いたカワウソの腸内環境改善
	新潟新潟薬科大学	カマイルカとハンドウイルカの薬物動態解析

(3) 海洋・河川文化の保護保全（生物種の保全を含む）

区分	名称	内容	回数
生息域内 保全	シナイモツゴ調査	県内の希少淡水魚の生息調査	1回
	コシノハゼ調査	県内の希少淡水魚の生息調査	5回
	キタドジョウ調査	県内の希少淡水魚の生息調査	2回
	フクドジョウ調査	国内外来種の生息調査	1回
	サンショウウオ調査	県内の希少両生類の生息調査	1回
	スナガニ調査	大河津分水周辺及び新潟市内の生息調査	8回
連携調査	夏休み親子魚探検隊	生物多様性保全ネットワーク新潟の自然観察会への講師派遣	2回
	川の学校 -川の生き物観察会	タランペクラブの自然観察会への講師派遣	1回
	福島潟いきものしらべ水生 生物観察会	NPO ねっとわーく福島潟の自然観察会への講師派遣	1回
	上堰潟公園現地調査	新潟市里潟研究ネットワーク会議の調査への職員派遣	1回
生物調査	漂着混獲生物調査	県内の海岸に漂着または混獲された生物の調査	38回

2 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業

【事業目的】

新潟の自然環境とそこに生息する水生生物の展示を基礎としながら、多種多様な環境の生物を展示し、各種体験型プログラムを実施することで、市民が海洋・河川や水生生物などに親しむ機会の充実などを図り、海洋・河川に関心を持つきっかけとなる機会を創出する。

【主な事業内容】

(1) 水生生物に関する知識の普及振興

※中止…新型コロナウイルス感染防止のため

名称	プログラム	内容	実施（予定）日	参加人数
企画展示	海を流れる物 (夏期)	様々な漂着物の実物、水族館の調査資料を中心に、生体や標本、パネルなどを用いて漂着物に関する情報を解説した。	7/2~10/31	168,616 人
	ウミガラスって どんな生き物？ (秋期)	ウミガラスの形態や生態、保護の現状、海鳥の多様性についてパネルや標本を通して紹介した。	11/19~1/10	40,712 人

	フォトコンテスト受賞作品展 (冬期)	館内で撮影した写真を公募しコンテストを行い、上位受賞作品の展示会を開催した。 応募点数：260点 展示点数：137点	1/17~2/27	11,787人
	新潟のタナゴ (春期)	新潟県に生息するタナゴ亜科魚類 4 種と新潟県では絶滅とされながら生息が確認されたゼニタナゴなどを生体、標本、パネルを用いて展示した。	3/18~6/12	開催中
いきもの 教室	貝の標本作り	水族館地先の海岸にて貝の採集を行い、採集した貝を用いて種の同定方法と標本作製の手順を学び実践した。	8月18日	15人
	いきものホネホネ観察	哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類のそれぞれの骨を実際に見たり触ったりして、体の仕組みや骨の作りの違いを学んでもらった。	1月15日	19人
	鳴き声に注目	イルカやペンギンなど、生きものが出す様々な音を聞き、その時の動物がどんな状態、特徴を持つのかを考えてもらう。	2月26日	※中止
大人向け 教室	写真教室	水槽撮影時に役立つ技術をレクチャーし、実際に館内で撮影を行う。撮影後は作品発表を行う。	10月30日	20人
	視覚障がい者のための水族館講座	触れることができる生きものや標本などを活用して、水族館の生きものについてのレクチャーを行った。水族館の役割や生物多様性の話や館内見学も行った。	11月13日	6人
	聴覚障がい者のための水族館講座	聴覚障がい者向けの資料や手話を活用して水族館の生きものについてのレクチャーを行った。水族館の役割や生物多様性の話や館内見学も行った。	12月18日	4人
	年間パスポートユーザー向け水族館講座	年間パスポート会員を対象としたプログラムとし、水族館の飼育システムや飼育生物についてレクチャーやバックヤード見学などを行う。	2月5日	※中止
	パパママ水族館乳幼児と乳幼児を育てている大人のための水族館	乳幼児と一緒に水族館を楽しむプログラムとし、館内での見学やレクチャーなどを行った。乳幼児を預かり、保護者だけで館内を観察してもらう時間を作った。	3月12日	15人
特別ガイド ツアー	ナイトツアー	通常観ることのできない閉館後の夜の水槽の様子を観察してもらい、昼と夜での生き物の活動の違いや外観の変化等を解説した。	8月27・28日	37人
			9月3・4日	※中止
参加型 イベント	にいがたフィールドガイド	にいがたフィールドを解説しながら案内し、環境と希少生物の域外保全等を紹介した。最後に、その時期に観察できない生物の紹介と解説を補足するための冊子を配布した。	4月17日 5月15日 6月19日 10月16日	41人
	育成室開放	通常入室できない本館地下の育成室を、職員立ち合いのもと入館者に開放した。	11月20日 12月18日 1月15日 3月19日	251人 ※2/19開催は中止

	イルカバックヤードミニガイド	バックヤードやステージの見学を通して、飼育の裏側やイルカの生態について解説した。	10/23~12/11 の土曜日 計8回	94人
	ペンギンの繁殖とヒナの成長	普段見ることの出来ないフンボルトペンギンの巣穴での繁殖の様子とヒナの成長を解説パネル展示と解説で紹介した。	12/10~3/31	75人
	ミナミイワトビペンギン解説	ペンギンの散歩道を使って、ミナミイワトビペンギンを観察しながら形態や生態について解説した。	10月・11月の 毎週金曜日	319人
記念日 イベント	ペンギンの日イベント	ペンギンの生態や野生の現状、飼育の工夫について、パネル展示やクイズ、バックヤードを通して解説する。	4/24~25	28人
	カワウソの日イベント	カワウソ類の生態や野生の生息状況などについての解説パネルを展示するとともに、ユーラシアカワウソについての解説を行った。	5/22~23	51人

(2) 水生生物の収集、飼育、展示

区分	名称	内容	回数	参加人数
常設展示	飼育展示	600種 30,000点の魚類、海獣その他水生生物の飼育展示規模を維持、拡大。	常設	-
常設解説	イルカショー	イルカの認知、行動能力などを解説し、楽しく学べるイルカショーを実施した。(約15分)	4~5回/日	-
	マリンサファリ 給餌解説	トドに餌を与えながら、体のつくりや生態について解説を行った。(約10分)	2回/日	-
	ペンギン解説	ペンギン散歩道(夏季はペンギン海岸)でペンギンの歩く様子等を見ながら、分類や生態、生息地の環境について解説を行った。(約15分)	2回/日	-
	日本海大水槽解説	大水槽の展示生物の紹介や海洋環境に関する知識の普及、水族館のしくみまで多角的な情報を伝えた。(約10分)	1~2回/日	5,968人
	磯のいきもの解説	磯の体験水槽で、生物の扱い方や、生息環境について、解説を交えながら近くで観察してもらった。(約10分)	1回/日	1,953人
	アクアラボ体験	通常展示では伝えられないさまざまな生き物に関するプログラムを開催し、来館者へ発信した。	通年(繁忙期以外)240回	1,701人

区分	名称	内容	回数
生物採集	能生乗船	カゴ漁(ベニズワイガニ、イサゴビクニン等)採集	1回
	佐渡乗船	定置網(シイラ等)・カゴ漁(ホッコクアカエビ、トゲビクニン等)採集	4回
	寺泊乗船	定置網漁(アオリイカ等)、刺し網漁(アカムツ等)採集	6回

	間瀬乗船	アラ底引き網（アラ他）採集	2回
	五十嵐浜乗船	板曳き網漁（ヒメジ、ササウシノシタ等）採集	4回
	所有ボート乗船	流れ藻採集、タイマイ放流	3回
	出雲崎・柏崎アマモ場	アマモ、コシマガリモエビなど採集	4回
	水族館地先	アカモク、マヒトデ、マナマコなど採集	8回
	淡水生物採集	コシノハゼ、カジカ大卵型等採集	11回
	ふくしま海洋科学館 串本分館	スマ等採集	2回
	新潟漁協出雲崎支所	コモンサカタザメ等収集	1回
	新潟漁協両津支所	ヤマトコブシカジカ、サラサベッコウタマガイ等収集	1回
	寺泊漁協	アカムツ、ミズダコ等収集	22回
	新潟漁協西蒲支所	ホッケ、マヒトデ等収集	13回
	新潟漁協新潟支所	コンペイトウ等収集	3回
	信濃川漁協	ジュウサンウグイ	2回
	新潟県水産振興協会	アユ	1回
	阿賀野川漁協	カワヤツメ	1回
生物交換	ふくしま海洋科学館	マイワシなど	6回
	なかがわ水遊園	ウケクチウグイ	1回
	東海大学海洋科学博物館	キンメダイ等	2回
	上越市立水族博物館	シロウオ等	2回
	葛西臨海水族園	サギフエ	1回
	尖閣湾揚島遊園 水族館	イトマキヒトデ等	1回
	新江ノ島水族館	フンボルトペンギン	1回
	小諸市動物園	フンボルトペンギン	1回

1 施設管理に付帯する事業

【事業目的】

施設利用者に対する利便性を図るため、レストラン及び売店、自動販売機等の設置。

【主な事業内容】

区分	場所	設置数
レストラン	本館2階	1ヶ所
軽食	屋外、屋上 ※季節営業	2ヶ所
移動販売車	アプローチ棟手前 ※季節営業	1ヶ所
売店	アプローチ棟	1ヶ所
自動販売機	館内各所	19ヶ所
ロッカー	本館1階	1ヶ所
記念メダル	本館1階	2ヶ所
プリクラ	水辺の小動物ゾーン	1ヶ所